

薬局管理の基本

医薬品管理・情報の活用から地域における役割まで

- 監修の序 上村 直樹
- 編集の序 上村 直樹
- 実務実習事前学習方略／薬局実習方略／OSCEとの対応表

第1章 保険薬局の役割

1. 薬局の果たすべき役割

上村 直樹 20

- 1. 薬局の歴史と医薬分業 20
- 2. 医薬分業のメリットとデメリット 20
- 3. かかりつけ薬局 21
- 4. 医薬品の適正使用 23
- 5. 薬効評価 23
- 6. 健康相談 24
- 7. 地域での薬局の役割と連携 25
 - 1) 休日・夜間体制 25/ 2) 教育活動 25/ 3) 災害時活動 26/ 4) 学校薬剤師の活動 26/
 - 5) 地域連携 26

2. 薬局倫理・薬剤師倫理

上村 直樹 27

- 1. 医療の担い手としての倫理規範 27
- 2. 法律・制度の遵守 29
 - 1) 薬局調剤に関する法律 29/ 2) 薬局と保険薬局 30
- 3. 守秘義務 30
- 4. 薬局開設者と管理薬剤師 30
 - 1) 薬局開設者と管理薬剤師の遵守事項 30/ 2) 管理薬剤師の役割 32

第2章 薬局管理の実際（基本編）

1. 薬局の構造・設備

下平 秀夫, 上村 直樹 34

- 1. 薬局の構造・設備とは 34
 - 薬局の構造設備の基準（薬局等構造設備規則） 34
- 2. 薬局の立地 36
 - 1) 薬局業務運営ガイドラインとは 36/ 2) 薬局の独立性と立地 36
- 3. 薬局内部の設備 38
 - 1) 外観 38/ 2) 待合室 38/ 3) 処方受付 45/ 4) 調剤室 47/ 5) 投薬カウンター 49/ 6) 会計 50/ 7) 倉庫, 保管庫 51/ 8) スタッフルーム 53
- 4. 薬局の環境 54

2. 医薬品管理

下平 秀夫, 上村 直樹 56

- 1. 在庫管理 56
 - 1) 在庫数 56/ 2) 適正在庫の確保 57/ 3) 医薬品卸業者とMS 57/ 4) 在庫管理システム 58/ 5) 他薬局への分割販売（零売） 60
- 2. 品質管理 61
 - 1) 保存条件 61/ 2) 医薬品の有効期間 61/ 3) 法的な規制 62
- 3. 医薬品管理と医薬品情報 63

3. 在宅医療

伊集院 一成 66

- 1. 在宅医療とは 66
- 2. 在宅医療の流れ 66
- 3. 訪問指導のための準備 67
 - 1) 届出 67/ 2) 必要な書類 68/ 3) 在宅訪問に必要な設備 70
- 4. 訪問指導の流れ 71
 - 1) 処方医からの情報提供 71/ 2) 薬学的管理指導計画書策定 71/ 3) 処方せん受付 72/ 4) 調剤 72/ 5) 患者さん宅へ電話連絡, 訪問指導 72/ 6) 薬歴および報告書の作成 75
- 5. 在宅医療で使用する器材 76
- 6. チーム医療としての在宅医療 77
- 7. 緩和医療とのかかわり 77
- 8. 在宅医療に取り組むためには 77
- 9. 在宅における服薬支援方法 78

4. 一般用医薬品 (OTC医薬品) とセルフメディケーション

鹿村 恵明	81
1. セルフメディケーション	81
2. 一般用医薬品	81
1) 一般用医薬品のリスク分類	81
2) 一般用医薬品の相互作用、副作用	83
3. 医薬部外品	85
4. 保健機能食品、健康食品	87
5. 医療機器	88
6. 化粧品	90

第3章 薬局管理の実際 (応用編)

1. 患者さんとのコミュニケーション

後藤 恵子	94
1. 安心できる環境づくり	94
2. さまざまな質問法	96
1) 開いた質問 (open-ended question)	96
2) 閉じた質問 (closed question)	97
3) 焦点を当てる質問 (focused question)	98
4) 多項目質問法 (multiple choice question)	98
3. 患者さんの気持ちや考えを聴く	98
1) 薬剤師と患者さんでは思考の枠組みが異なることを理解しておく	98
2) 患者さんの気持ちや病気に対する解釈モデルを尋ねる	98
3) 患者さんの不安や疑問を聴く	99
4) 患者さんの話を傾聴する	99
4. 「伝える」ことと「伝わる」ことの違い	99
1) 専門用語を避ける	100
2) 伝わったかどうかの確認も大切	101
3) 薬識を確認する	101
5. 患者さんのセルフケアを支援する	102
1) 治療への取り組み姿勢には段階がある	102
2) 段階に応じた支援の方法を心がけよう	102
3) 結果予期と効力予期	102
4) 「それならできそう」を一緒に見つけること	104
6. チーム医療に必要なコミュニケーション	104
1) 自分も相手も大切にした自己主張のしかた、アサーション (assertion) を身につけよう	104
2) アサーションのための7つのアドバイス！	104

2. 教育・学習

下平 秀夫, 上村 直樹 107

1. 保険薬剤師における生涯学習の意義	107
2. 社員教育	108
1) まずは企業理念	108
2) 最初に学ぶ業務	108
3) 保険薬局での学習環境	109

3. 薬局での実務実習

4. 保険薬剤師の生涯学習の方法

1) 仕事に慣れてから差がつく 110 / 2) 生涯学習の種類 110

5. 学術大会への参加と発表

1) 学会への参加 113 / 2) 学会でのプレゼンテーション 114

6. 論文の執筆

1) 後進のために業績を論文にする 116 / 2) 臨床論文作成のポイント 117 / 3) 論文の種類 117 / 4) 投稿規定 117 / 5) 査読システム 117

7. 学習の到達深度

原 博 119

3. 実務実習の受入

1. 薬学におけるモデル・コアカリキュラム

119

2. 参加型実務実習の意義

122

3. 共用試験

123

1) CBTとは 123 / 2) OSCEとは 124

4. 実務実習の受入と指導方法

124

1) 薬局側の事前の準備 124 / 2) 実習内容の留意点 124 / 3) 指導方法 125

5. 参加型学習

126

1) PBLチュートリアルとは 127 / 2) 教員の役割 127

4. 医薬品情報の収集と管理

田村 祐輔 130

1. 保険薬局における医薬品情報業務の特徴

130

2. 医薬品情報の収集や管理に必要なもの

131

3. 主な情報源

132

1) 添付文書 132 / 2) インタビューフォーム 132 / 3) 製品情報概要 132 / 4) 緊急安全性情報 133 / 5) 使用上の注意改訂のお知らせ (ブルーレターを含む) 133 / 6) 医薬品・医療機器等安全性情報 134 / 7) 医薬品安全対策情報 (DSU: Drug Safety Update) 134 / 8) 書籍 135 / 9) 雑誌 135 / 10) 業界紙など 135 / 11) インターネットによる情報 135 / 12) その他 135

4. 情報の管理

139

5. 情報活用の実際 (例)

141

6. 薬局から行う情報提供など

142

索引

144